

小中一貫教育だより

社学園 第3回学校運営協議会

社学園第3回学校運営協議会が9月17日に開催されました。今回は特に、「通学路の安全確保に向けた体制づくりについて」の議論がなされました。旧小学校区ごとに交通量等からみた危険度チェックを行い、全体で共有しました。通学路の安全確保に向けて、交通立ち番や見守り活動のあり方について話し合いをする中で、子どもたち自身にも「自分の命は自分で守る」意識を向上させることも大切である確認がなされました。「課題解決」だけでなく、「子どもたちを育てる」という視点から熟議を行えたことが、学校運営協議会として委員の皆さんの意識が一步進んだように感じました。学校運営協議会で大切なことは、みんなで（協働）考える（熟議）ことにあります。今後も、子どもたちのために、前向きな取組を行っていきます。



【活発に意見交換する委員の皆さん】

滝野地域 出前授業

「滝野地域 出前授業」が、9月16日に滝野東小学校6年生教室で、9月19日に滝野南小学校6年生教室で行われました。これは、令和10年度滝野地域小中一貫校開校に伴う教科担任制の導入と小学校から中学校への滑らかな接続を目的に中学校教員が小学校で授業をするものです。

今回は滝野中学校 数学科担当の玉田哲義教諭が6年生の算数科「比とその利用」の授業を行いました。

授業を受けた児童からは、「中学生になるのが楽しみだし、早くなりたいと思わせるとてもいい時間になりました。」「中学校の授業がどんなのか不安だったので、今日で少し中学校のことが分かって良かったです。」「中学校の先生なので厳しくて怖い人だと思っていたけど、ユニークな面白い先生だった。中学校に行く時の不安が和らぎました。」「早く中学生になって、比の勉強をしたいと思いました。」などの感想が寄せられました。今回の出前授業は、児童の中学校に向けての希望を膨らませるとともに、不安解消に役立ったようです。

授業後のアンケートでは、「授業に中学校の先生が入ったことは、どうでしたか。」という質問に対し、84%の児童が「とても良かった」と回答し、「良かった」を含めると100%でした。滝野地域小中一貫校開校に向けて、ハード面だけでなくソフト面でも準備を進めています。



【滝野東小学校での授業の様子】



【滝野南小学校での授業の様子】